

11 月 18 日：銀行株を中心に下落

11 月 18 日月曜日の取引は、下落して始まった。上昇トレンドを形成してきた銀行株が利益確定の為に売られることとなった。

ホーチミン取引所の VN 指数は心理的な節目である 1000 ポイントに近づき、7.12 ポイント（0.7%）安の 1002.91 ポイントで取引を終えた。出来高は 13.2%、売買代金にして 18.4%減少しそれぞれ 1 億 8430 万株と 4.2 兆ドンであった。

銀行株の中では、ベトコムバンク（VCB）は 2.3%安の 87,600 ドン。テクコムバンク（TCB）は 24450 ドン（-1.8%）、ベトナム投資開発銀行（BID）は 1.7%安の 41300 ドンで取引を終えた。

その他の大型株もさえない動き。ビナミルク（VNM）は 1.8%安の 120800 ドンで取引を終えた。VNM は 4 営業日で最も下落した銘柄で、合計 4.8%の下落となった。

FLC ファロス建設は出来高が 2910 万株で 1.2%高の 25200 ドンで取引を終えた。一方、FLC グループ（FLC）は 3.1%安の 4030 ドンで取引を終えた。

VN ダイレクト証券によると、VN 指数は 1010-1050 ポイントで今年の子の時間を推移することになるだろうとのことだった。

支持材料に欠けており、1200 ポイントの高値を付けた 2017 年の 8 月から 2018 年の 4 月までのような上昇トレンドは形成しないだろうと思われる。現在から年末までは、魅力的な IPO もないが、外国人保有比率制限を緩和する新証券法が近いうちに発表されるかもしれない。

この期間の市場を牽引するセクターは、銀行、不動産、小売セクターである。

市場は短期的な調整局面に入っている。世界的な好材料と悪材料が入り乱れる展開はベトナム株へも警戒感をもたらししている。

バオベト証券によると、VN 指数は 1000-1008 ポイントの支持線を試す展開になる。そして反発が期待されている。しかしながら、本格的な反発の前に 1000-1030 ポイント付近で値固めが必要だろうとのことだった。

11 月の先物が満期を迎えるため、VN30 指数を中心として、週後半にかけて大きく変動すると見込まれる。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.88 ポイント(0.83%)安の 105.15 ポイントで取引を終えた。

アジアコマーシャル銀行 (ACB) は 1.2%安の 24100 ドン、サイゴンハノイ証券は 1.5%安の 6500 ドンで取引を終えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。